

命を守る 総合防災訓練

11月5日火曜日

久米島町防災訓練

■大地震・大津波非難訓練
10時～11時

訓練開始時に防災行政無線放送と緊急速報メールを配信します。

地震・火災について

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

**地震
発生**

最初の大きな揺れは約1分間

- ◆ まず、身を守る安全確保 手近な座布団などで頭を保護
- ◆ すばやく火の確認 ガスの元栓、コンセント
- ◆ 大きな揺れの場合は、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所に一時避難する

揺れがおさまったら

- ◆ 火元を確認 火が出たら、落ち着いて初期消火
- ◆ 家族の安全を確認 倒れた家具の下敷きになっていないかを確認
- ◆ 靴をはく 家の中はガラスの破片が散乱。靴や厚手のスリッパをはく
- ◆ 避難するときは、屋根瓦・ブロック塀・自動販売機等に注意
- ◆ 津波などの危険が予想される地域はすぐ避難

みんなの無事を確認 火災の発生を防ぐ

出火防止
初期消火

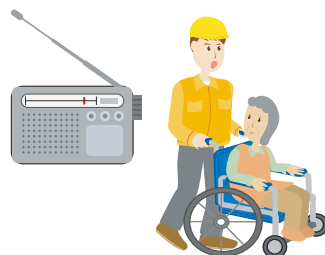
- ◆ 初期消火 消火器を使う バケツリレー
- ◆ 漏電・ガス漏れに注意 ◆ 余震に注意

ラジオなどで正しい情報を得る

- ◆ 大声で知らせる ◆ 救出・救護を ◆ 防災機関、自主防災組織の情報を確認
- ◆ デマにまどわされないように ◆ 避難時に車は極力使用しない
- ◆ 電話は緊急連絡を優先する

協力して消火活動、救出・救護活動

- ◆ 水、食料は蓄えているものでまかなう 3日間の飲料水と食料の備蓄をしておく
- ◆ 災害・被害情報の収集 ◆ 無理はやめよう
- ◆ 助け合いの心が大切 ◆ 壊れた家に入らない



1～2分

3分

5分

10分
数時間
3日

ホテルの中

- ◆ 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく屋外の安全な場所へ避難する。
- ◆ 裸足で歩き回らない（ガラスの破片などでケガをする）。

デパート・スーパー

- ◆ カバンなどで頭を保護し、ショーウィンドウや商品などから離れる。柱や壁ぎわに身を寄せ、係員の指示を聞き、落ち着いた行動をとる。

路上

- ◆ その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などに避難する。
- ◆ 近くに空き地などがないときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ◆ ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- ◆ 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

海岸付近

- ◆ 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。



劇場・ホール

- ◆ カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。
- ◆ あわてずに冷静な行動をとる。

車を運転中

- ◆ ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- ◆ 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- ◆ 避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

バスなどの車内

- ◆ つり革や手すりに両手でしっかりつかまる。
- ◆ 途中で止まっても、非常コックを開けて勝手に車外へ出たり、窓から飛び降りたりしない。
- ◆ 乗務員の指示に従って落ち着いた行動をとる。

